

記 者 発 表 (発 表 ・ 資 料 配 布)				
月／日 (曜日)	事 務 所 等 名	電 話	発 表 者 (担当者)	配布先
7/24 (木)	県立農林水産技術総合センター (病虫害防除所)	0790-47-1222	病虫害防除所長 (望月 証)	県庁記者クラブ 北播磨県民局

令和7年度病虫害発生予察注意報 第2号
「ハイマダラノメイガの発生状況と防除対策」について

兵庫県立農林水産技術総合センター（病虫害防除所）が実施した誘致植物（クレオメ）を利用した発生予察調査において、ハイマダラノメイガの寄生花枝率が高い状態が続いており、今後、育苗が始まるアブラナ科作物への加害が懸念されます。関係機関からの指導を促すため、「病虫害発生予察注意報 第2号」を発表します。

記

- 1 対象作物 アブラナ科の野菜類（キャベツ、はくさい、ブロッコリー、だいこん、チンゲンサイ等）及び花き類（ストック等）
- 2 病虫害名 ハイマダラノメイガ（別名：ダイコンシンクイムシ）
- 3 発生地域 県内全域
- 4 内容 詳細は別紙「令和7年度病虫害発生予察注意報 第2号」のとおり

兵庫県立農林水産技術総合センター（病虫害防除所）は、農作物を加害する病虫害の発生状況を調査するとともに、その後の発生を予測し、普及指導員やJAの営農指導員等に「予察情報」として提供しています。また、農業生産現場から持ち込まれた病虫害の診断も行っています。

農 技 第 1500 号
令和 7 年 7 月 24 日

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和 7 年度病虫害発生予察注意報 第 2 号を發表します。

ハイマダラノメイガの多発傾向がみられています。本種は、アブラナ科作物の生育初期に生長点付近を食害し、深刻な被害を与えるため、育苗期や定植後の防除対策を徹底するよう指導願います。

令和 7 年度病虫害発生予察注意報 第 2 号
ハイマダラノメイガの発生状況と防除対策について

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 対象作物 | アブラナ科の野菜類（キャベツ、はくさい、ブロッコリー、だいこん、チンゲンサイ等）及び花き類（ストック等） |
| 2 病虫害名 | ハイマダラノメイガ（別名：ダイコンシンクイムシ） |
| 3 発生地域 | 県内全域 |
| 4 発生程度 | 多い |
| 5 発生時期 | 7 月下旬～10 月下旬 |
| 6 発生状況と今後の発生について | |

- （1）県立農林水産技術総合センター（加西市）で実施しているハイマダラノメイガの誘致植物^{※1}（クレオメ）による調査において、6 月第 4 週以来、花枝^{※2}への寄生率が平年より高く推移している（図）。7 月第 3 週（7 月 16 日）の調査では、寄生率が 71%と過去 10 年の値と比較して最も高く、多発年（2022 年）を上回っている。
- （2）県内のアブラナ科野菜（チンゲンサイ）で既に本種による被害が認められている。
- （3）気象庁の近畿地方の 1 か月予報（7 月 17 日発表）によると、気温は平年より高く推移するとされている。本種の増殖に好適な条件であることから、発生はさらに増加すると考えられる。今後、野菜類の育苗や本圃への定植（ダイコン等の直播栽培を含む）の盛期となることから、対象作物での被害が拡大することが懸念される。

※1 対象とする害虫が好む植物で、発生状況を調べるために用いられる。

※2 クレオメは頂部に花が咲く分枝（花枝）を連続して展開する。ハイマダラノメイガの発生予察では、この花枝を調査単位としている。

7 本種の特徴について

本種はアブラナ科作物を特異的に加害する。成虫（写真1）は体長約10mmで、生長点付近に1卵ずつ産卵する。幼虫は、作物の育苗期～本圃栽培初期では、生長点付近に食入し、葉を綴り合わせて食害する（写真2）。

生育初期に食害されると成長が止まり（写真3）、キャベツ等の結球野菜では、食害を受けた株は正常に結球しなくなり（写真4）、商品価値を失うため、1頭でも株に存在すれば減収につながる。

8 防除上の留意点

- (1) 加害を確認してからの対策では手遅れとなるので、発生盛期である8月中旬～9月下旬頃に育苗や播種・定植をする場合は、本種による加害が起こることを前提とした予防的防除に努める。
- (2) 寒冷紗や防虫ネット、不織布による被覆は、成虫の飛来・産卵防止に効果がある。防虫ネットの目合いは、2mm×4mm以下で十分な防除効果が得られる。被覆資材の利用にあたっては、内部が高温になりすぎないように注意する。成虫は夜間に活動（産卵）するので、黄色灯の利用も飛来・産卵防止効果が期待できる。
- (3) 播種・定植時や育苗期に、粒剤や灌注で薬剤処理をした場合でも、その後の降雨などの条件により、十分な効果が得られないこともある。本圃での発生状況に注意して、必要に応じて薬剤散布を実施する。
- (4) 薬剤散布を行う場合は、農作物病虫害・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

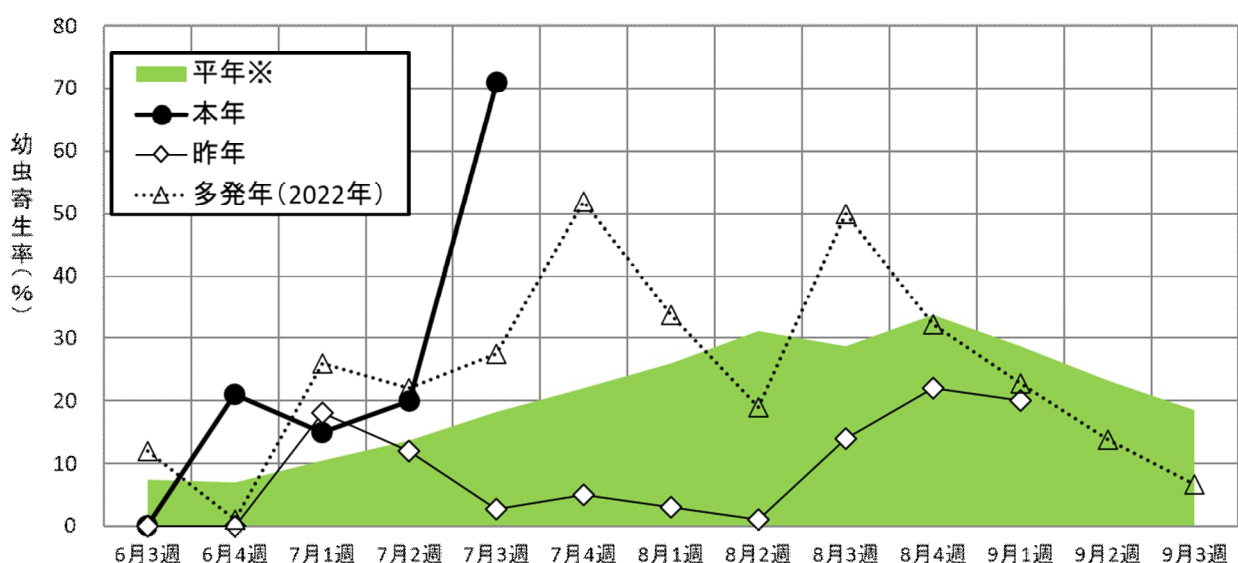


図 誘致植物（クレオメ）の花枝におけるハイマダラノメイガ寄生率の推移

※6月は4か年（2021～2024年）、7月～9月は10か年（2015～2024年）の平均値



写真1 ハイマダラノメイガ成虫
(体長は約10mm)



写真2 クレオメに寄生する幼虫
(生長点の食害)



写真3 食害を受けたキャベツ
(定植直後)

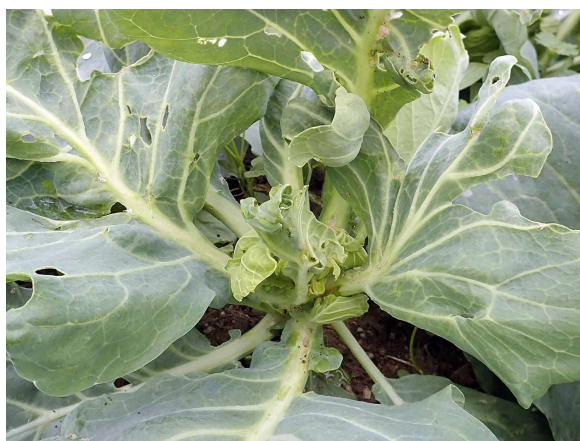


写真4 食害を受けたキャベツ
(正常に結球しない)

*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)を開設しています。

発生予察情報など病害虫に関する情報を速やかに提供しますので、是非フォローをお願いします。

Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

